

公益社団法人 茨城県作業療法士会
令和6年度 第2回理事会 議事録

令和6年6月9日12時50分、茨城県立医療大学大会議室とインターネット会議システム ZOOM を使用して、理事25名、監事2名出席の下、第2回理事会を開催し、下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、13時30分散会した。

出席：(理事) 大場、小森、山倉、寺門、寛、細田、荒井、後閑、田口智、木口、唯根、柘植、田口功、片岡、浅野、栗原、大津、島田、藤田、服部、田中、岩本、小山、稲葉、松本
25名
(監事) 西、荒木
(書記) 松本
(欠席) 磯 1名

【Ⅰ 審議事項】

1. 「協会員＝士会員」実現ための方策と行程表について 事務局 小森局長 ⇒ 承認
<審議概要>
- ・事前に資料をメールで送っているが、昨年度の12月に方策と工程表の資料をいただき、県士会としての回答をする必要があり議案に上げた。
 - ・現時点で数名の理事からは意見をいただいている。
 - ・当法人の場合、3月までに会員費の支払いがなかった場合は、会員ではなくなることになるが、協会員の場合は再入会の猶予が年度を跨いでいる。
 - ・年会費の支払いは前年度の末までに支払うことになるが、その時の事業費が5月までに入金されることになる。その間に入会を希望する方もいるため、それをどのようにするか。
 - ・また、入会の促進に関して新卒者の給料の低さがあるかもしれないため、分割払いが可能か意見として挙げている。
 - ・「協会員＝士会員」実現は2026年を目標に実施予定でいる。
 - ・協会員のみ・士会のみの方もいるため、その方たちにどのように入会していただくかを考える必要がある。
- <審議結果>
- ・今回の回答は6月12日までに意見のある方は小森局長まで連絡をしていただき、回答をする。

【Ⅱ 報告・連絡事項】

1. 令和6年度地域保健総合推進事業について イキイキ地域づくり事業部 藤田部長
- ・都道府県理学療法士・作業療法士における地域・職域での予防・健康づくりを目的とした保健活動を推進するための研修の開催及び伴走支援の在り方に関する検討事業」と題して日本公衆衛生協会の地域保健総合推進事業の分担事業を行うことになった。
 - ・今年度1年間、当士会は協力事業者として委嘱されましたのでご報告する。
 - ・現時点でのメンバーは、イキイキ地域づくり事業部藤田部長、地域貢献局細田局長、土浦厚生病院濱田様の3名となっている。
2. 運転・移動支援作業療法委員会の進捗状況について 運転・移動支援作業療法委員会 夏加委員長
- ・第15回茨城県作業療法士学会にてランチョンセミナーを開催し、支援者となるOTに対して当委員会の片根OTより運転評価の基本内容をお伝えした。

- ・また高次脳機能障害者支援センターから支援コーディネーターの高松氏をお招きして当委員会も作成にご協力させて頂いたパンフレット（高次脳機能障害者の自動車運転支援）についてご講義いただきました。
- ・同学会のブースの内容としては、運転前チェックリストや体操等の資料、運転終了に向けた手続き方法についての資料・動画等の展示を行った。また停止車両評価機材を展示し停止車両評価についての告知活動も行った。
- ・高次脳機能障害者支援センターが開催している自動車再運転支援連絡・研究会に委員会として参加を継続している。
- ・委員会の活動強化を図る目的で茨城県立医療大学の高崎助教・真田助教にも委員会活動にご参加をいただき、外部との連携も含めた活動を展開していくこととなった。
- ・活動内容の方向性が高次脳機能障害者の運転支援と高齢者も含めた移動支援の2本柱となっており、「障害と自動車運転支援委員会」の名称では外部に意図が伝わりづらいとの話になり「運転・移動支援作業療法委員会」に名称変更を提案し、理事会にてご承認いただいた。

3. 第16回茨城県作業療法学会の進捗状況について

- ・現在、会場を検討しており、アール医療専門職大学で検討している。
- ・今回は様々な福祉事業所に参加していただけるよう計画している。
- ・日程に関しては2月2日を計画している。
- ・今回、委員会活動を発表するブースやVRの体験スペースを作ることを計画している。

- ・令和6年7月7日（日）第1回常任理事会 茨城県作業療法士会事務所またはZOOMにて開催予定

以上